

# 森・里・川・湖の恵みをいかした、人が輝くまちづくり

東近江市は、鈴鹿の山々から琵琶湖までが一つの市域となった森・里・川・湖が広がる多様性のある自然の中に、万葉の時代から綿々と受け継がれてきた千年を超える歴史、文化、伝統が蓄積された素晴らしい地域です。

これらの地域資源を磨き上げるとともに、本市のスケールメリットを最大限にいかした政策を推進し、「東近江市で生まれ、育ち、生涯を通じてこのまちで満足のできる人生を過ごしている」と実感できるクオリティの高いまちを目指しています。そのために、これからの10年先、20年先を見据え、地域に活力を呼び起こすさまざまな施策を前進させ、強く豊かな東近江市の創生に向け、全力を尽くしてまいります。

東近江市の更なる発展のため、より一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、この要覧が、東近江市への理解を深める一助となり、本市の魅力を少しでも感じていただければ幸いです。



東近江市長  
小椋正清

## 市政のあゆみ

- 平成17年 2月11日 八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町が合併し、東近江市が誕生
- 2月27日 初代市長に中村功一氏が就任
- 10月23日 合併後初めての市議会議員一般選挙（定数24人）
- 平成18年 1月1日 東近江市・能登川町・蒲生町が合併
- 12月1日 東近江スマイルネットが開局
- 12月22日 東近江市平和都市宣言を決議
- 平成19年 3月1日 市の花「ムラサキ」・市の木「イロハモミジ」を選定
- 平成20年 2月28日 百済寺境内が国史跡に指定
- 平成21年 2月27日 第2代市長に西澤久夫氏が就任
- 平成22年 10月16日 布引グリーンスタジアムが完成
- 平成23年 3月22日 新・水道事務所が開所
- 3月26日 国道421号石樽トンネルが開通
- 7月14日 蛭子田遺跡で日本最古級の甕鏡が出土
- 平成24年 7月23日 皇太子殿下（現天皇陛下）が五個荘金堂伝統的建造物群保存地区をご視察
- 平成25年 2月27日 第3代市長に小椋正清氏が就任
- 4月20日 東近江総合医療センター新棟が完成
- 12月22日 名神高速道路蒲生スマートICが開通
- 平成26年 3月18日 雪野山古墳が国史跡に指定
- 5月7日 市役所新館で業務を開始
- 平成27年 2月11日 東近江市発足10周年記念式典を挙げる
- 東近江市民憲章を制定
- 4月24日 中村功一氏と中路融人氏に名誉市民の称号を贈呈
- 「琵琶湖とその水辺景観」が日本遺産に認定され、本市の「伊庭の水辺景観」と「五個荘金堂の町並み（近江商人屋敷）」が選定
- 9月25日 鈴鹿10座を選定
- 10月10日 道の駅「奥永源寺深流の里」がオープン
- 平成28年 3月7日 「包括的連携協定」を近江鉄道株式会社と締結
- 4月17日 中路融人記念館が開館
- 平成29年 2月27日 第4代市長に小椋正清氏が就任（2期目）
- 3月24日 中心市街地活性化基本計画が内閣総理大臣の認定を受ける
- 4月28日 日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」に「永源寺と奥永源寺の山村景観」が追加認定
- 4月18日 県内初の地域商社「株式会社東近江あぐりステーション」を設立
- 4月21日 ももいろクローバーZのコンサート「ももクロ春の大事業2018 in 東近江」笑顔のチカラ、つなげるオモイ」を総合運動公園（布引グリーンスタジアム）で開催（22日）
- 令和元年 5月28日 「東近江市小椋谷」が県内初の林業遺産に認定
- 9月30日 東近江市制記念日（2月11日）を制定
- 11月3日 井村裕夫氏に名誉市民の称号を贈呈
- 11月15日 伊庭御殿跡が国史跡に指定
- 令和2年 1月24日 道の駅「あいとうマーガレットステーション」が国土交通省の重点道の駅に選定
- 9月26日 能登川アリーナが竣工
- 12月15日 日清紡能登川工場跡地再開発事業として、JR能登川駅前に分譲マンション建設の基本協定を事業者と締結
- 12月17日 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会が
- 近江鉄道の存続に向けた上下分離方式を決定
- 令和3年 2月27日 第5代市長に小椋正清氏が就任（3期目）
- 5月10日 八日市駅前市有地活用事業として、近江鉄道八日市駅前に分譲マンションを含む複合ビル建設の事業協定を事業者等と締結
- 6月28日 女子野球タウン連携協定を締結
- 7月24日 蒲生医療センターにがん診療棟が竣工
- 令和4年 2月1日 能登川地区に新しい隧道が開通
- 3月22日 百済寺本尊の木造十一面観音立像が国の重要文化財に指定

東近江市  
誕生までのあゆみ  
町村合併の経緯

スマートフォン、またはタブレットで  
スキャンしてください。

# 東近江市

## 市勢要覧 2022

HIGASHIOMI CITY

うるおいとにぎわいのまち

## 東近江市の歳時記

地域の特色をいかした祭やイベントが東近江市の各地で催され、多くの人々を魅了しています。

春

- 商家に伝わる武者人形めぐり [4月中旬～5月上旬]
- びわこJAZZフェスティバルin東近江 [4月中旬]
- 伊庭の坂下し祭 [5月4日]
- ヘムスロイドの杜まつり [5月第4土・日曜日]
- 花フェスタ [5月中旬]

秋

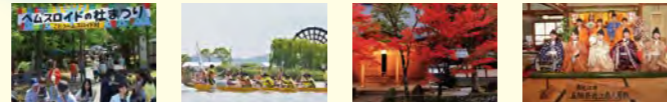
- ぶらっと五個荘まちあるき [9月最終日曜日]
- 東近江秋まつり（二五八祭、物産まつり、農林水産まつりほか） [11月上旬]
- 永源寺もみじまつり（大本山永源寺ライトアップほか） [11月]

冬

- 祝新成人20畳敷大凧揚げ [成人の日の前日]
- 商家に伝わるひな人形めぐり [2月上旬～3月中旬]

夏

- ドラゴンカヌー大会 [7月下旬の日曜日]
- 八日市聖徳まつり [7月中～下旬のいずれかの土曜日]
- コトナリエサマーフェスタ [8月上～中旬の約10日間]



東近江市  
市勢要覧  
デジタル  
ブック



スマートフォン、  
またはタブレットで  
スキャンしてください。



# 東近江市プロフィール

東近江市は、滋賀県の南東部に位置し、面積は県内で5番目に大きな市です。

地形は東西に細長く、東には御池岳から御在所岳につながる1,200m級の鈴鹿山脈、

西には琵琶湖があり、市域の中央には愛知川、南西部には日野川が流れています。

この両川の流域には平地や丘陵地が広がり、緑豊かな田園地帯を形成しています。

更に地域内には箕作山や織山などが点在し、

豊かな自然に恵まれています。

年平均気温は約15度、年間降水量は約1,440mmで、

一般的には穏やかな気候風土に恵まれています。

## 近畿最大の耕地面積を いかした農業の振興

鈴鹿山脈を源流とした大小の河川が肥沃な大地を育み、本市は近畿最大の耕作面積を誇ります。古くから米の主要産地であり「近江米」、「近江牛」、「政所茶」といったブランドの産地としても知られています。また、野菜や果物の生産・販売も盛んに行われており、畜産業、漁業、林業の振興にも力を入れています。



県内初「地域商社」設立



畜産業

## 進化し続ける 生活や産業を 支える交通網

市域の西にJR線、中央部には名神高速道路、幹線道路などの交通網が都市圏、近隣府県とのアクセスを良好にしています。また、地域内交通として、近江鉄道の駅が市内に13駅あり、さらに市民の身近な交通手段として「ちょこっとバス」や「ちょこっとタクシー」が活躍しています。



近江鉄道

名神高速道路

国道8号

ちょこっとバス



布引グリーンスタジアム



里山保育

## 教育・保育の施設と施策充実 子どもが未来に輝く東近江市へ

子どもを安心して産み育てることができるよう社会全体で子育てを応援する環境づくり、子育て家庭への支援など、「うるおいにぎわいが育む 子どもが未来に輝くまち」を目指し、子育てを支える施設、幼稚園から大学までの教育施設や機能、施策が充実しています。また、市内各地に19のスポーツ施設があり、市民の健康づくりや各種スポーツ大会などに活用されています。



愛知川源流から琵琶湖まで  
東近江市横断動画

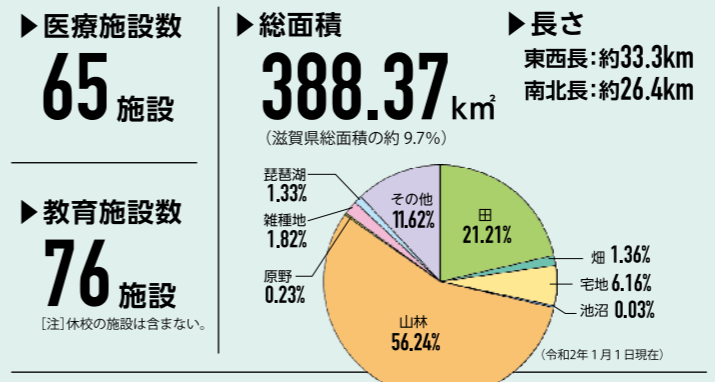
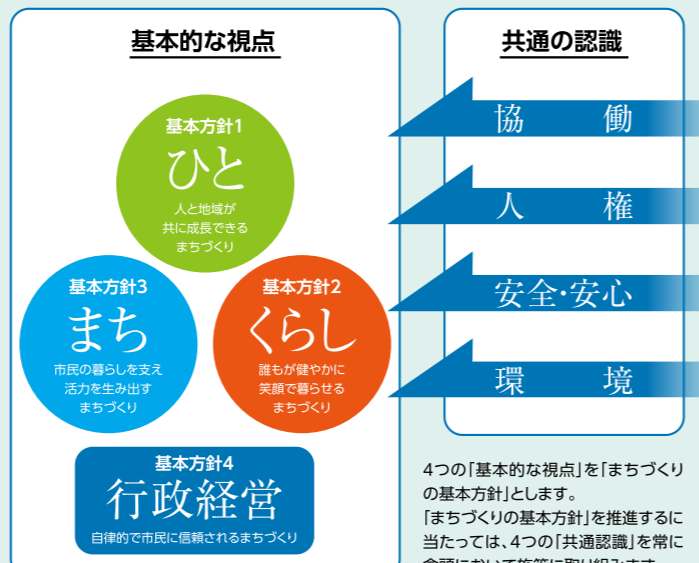
スマートフォン、またはタブレットで  
スキャンしてください。



Suzuka 10za  
平成27年9月に東近江市制10周年を記念して東近江市の数ある鈴鹿の山峰から10座を選定しました。

### 東近江市基本構想(将来像)

「このまちで素晴らしい人生を過ごしている」と実感できる東近江市でありたい



- ▶交流都市
- ・マーケット市(アメリカ)
  - ・常徳市[じょうとくし](中国)
  - ・テーバー町(カナダ)
  - ・レトビック市(スウェーデン)
  - ・場岩面[ちゃんあむみょん](韓国)
  - ・統営市[とんよんし](韓国)

## 圏域に特徴ある病院と診療所 医療機関連携で創る「総合病院」

本市には、国立病院機構運営の総合医療センターのほか、市が開設する1病院と7診療所があり、多くの施設において専門知識と技術を有する指定管理者に管理運営を委ねています。それぞれに特徴のある機能や診療科目を持っており、その特徴をいかして連携し、市民の皆さんが住み慣れた地域で、健康的な生活が送れるよう、日々良質な医療サービスを提供しています。



能登川病院アイセンター



蒲生医療センターがん診療棟

## 恵まれた立地でビジネスが加速 東近江市から世界へ発信

日本列島のほぼ中央、近畿圏と中京圏の真ん中に位置する立地条件や交通網の充実、災害の少なさなど、本市はビジネスに有益な地として注目されています。

有名な大企業や世界的なシェアを持つ中小企業など、多種多様な企業が優れた製品や技術を世界に発信しています。



## 中心市街地のにぎわい創出

本市の中心市街地である近江鉄道八日市駅周辺は、古くから市場町として、また、戦後は県内有数の歓楽街として栄えてきました。

買い物や飲食、余暇活動などで一日楽しめるまちとして、官民が一体となってにぎわいの創出に取り組んでいます。



八日市駅前えいとらす



延命新地地区